

**IOC サブ・リージョナル女性スポーツセミナー**  
**2003年10月21-22日：バンコク**

勧告声明

本セミナー参加者は以下の活動を勧告する：

**1. スポーツにおける女性のリーダーシップ**

- 1.1 IOC に対し、あらゆるレベルでのリーダーシップについて最低 20%を女性にするという目標を 2005 年末までに到達させること、また女性にリーダーシップの道を開く、より効果的な戦略を開発するように促す。
- 1.2 アジアオリンピック評議会 (OCA) とアジアの全 NOC に対し、各国のメンバーであるスポーツ連盟 (NF) も含め、この目標に到達するように奨励する。
- 1.3 NOC における女性代表者の現状を再検討及び分析し、より多くの女性を意思決定機関へと送り込む戦略を開発する。
- 1.4 女性をリーダーシップの地位へと選出するのを促進させるような協働体制を開発する。

**2. 予算配分**

- 2.1 NOC に対し、女性・スポーツプログラムのための予算政策を提示するように促す。
- 2.2 オリンピック・ソリダリティー支援プログラムは広く知られており、女性の利益のためによりよい活用法であることを確認する。
- 2.3 アジアオリンピック評議会 (OCA) に対し、アジアにおいて有意義なプログラムを開発し導入できるように、女性スポーツのための予算政策をたてるように主張する。

**3. 情報及びコミュニケーション**

- 3.1 女性とスポーツ委員会に対し、アジア地域の他の NOC と共に IOC に対しても、活動状況に関する情報を定期的に提供することを求める。
- 3.2 各 NOC が所有する伝達方法—インターネットホームページやニューズレター、新聞記事資料などをより有効に利活用し、女性スポーツの主導権を促進し、顕在化させる。
- 3.3 既存のウェブサイト (IOC, NOC extranet など) を利用し、最新の女性スポーツ活動をより有効に知らせる。
- 3.4 IOC が、全てのレベルにおける女性のリーダーシップに関する統計資料の最新版を保持するように支援する。
- 3.5 他のスポーツ関連機関とのリンク網を広げ、情報交換に努める。

#### 4. 地域機関と国際機関の連携

- 4.1 OCA 及び 2006 年アジア大会組織委員会と共に活動し、現プログラムの女性種目を維持し、さらに女性参加の機会を増やす。
- 4.2 女性に対し、理事の立場も含めた大会運営のあらゆるレベルで活動できる機会を提供する。
- 4.3 OCA 女性スポーツ委員会に対し、IOC 女性スポーツワーキンググループと連携して活動することを促す。
- 4.4 OCA 女性スポーツ委員会に対し、地域における情報の収集・提供機関として貢献し、活動状況について NOC に定期的に報告することを求める。
- 4.5 OCA に対し、少なくとも理事の 20%を女性とするという IOC の目標を 2005 年末までに果たし、女性とスポーツが常に議題となることを確約するように促す。

#### 5. 文化と伝統

- 5.1 男性と女性が手を取り合って活動しながら、女性のためのスポーツプログラムを開発していく重要性と付加価値を促進する。
- 5.2 真に基本的な運動やスポーツ活動を開発し、地方と都会に住む女性や少女たちがスポーツに関わり続けられるようにする。
- 5.3 宗教的かつ文化的グループにも手を伸ばし、その信条や伝統にあったスポーツ活動へと改変する。

#### 6. 身体活動と少女と女性のためのスポーツ

- 6.1 学校体育を維持する立場にたち、その目的にむけて行政組織に働きかける。
- 6.2 体育専門家に対し、生涯スポーツ活動を擁護する議論へと関心を高めさせる。
- 6.3 少女や女性をスポーツに惹きつける一方法として、最善の身体活動を家族単位で体験させる。
- 6.4 各国の NOC とスポーツ行政団体に対し、青少年、それも特に少女のためのスポーツプログラムを促進し、開発するようにと奨励する。

#### 7. 研究とデータ回収

- 7.1 各国の NOC に対し、女性とスポーツに関する歴史的な情報や統計資料を開発し、それを更新し続けるように促す。
- 7.2 女性とスポーツ問題に関する研究を奨励し、研究結果を基にニーズを判断し、それに沿った政策へと改変させる。

バンコク (2003 年 10 月 22 日)

和訳：NPO 法人ジュース (JWS)

編集：宮下和子 (鹿屋体育大学外国語教育センター長)